

【更新】平成30年2月8日

Q1 課題に書かれてある下記部分に係る件で「印もしくは穴の数を2カ所に施したスケールを2個持ち込みたい」が可能か？

6 持ち込み工具等について

6) 治具は作業板上に課題の寸法や器具、タッピングビスおよびステップルの取付ける位置を割り出すために準備したものである。治具は以下のようにする。

ア 市販のスケールに印や穴をあけたもの。ただし、印や穴の数は1つのスケールに4個までとし、穴や印のないものはいくつ持ち込んでもよい。」

不可です。



治具として、競技前に加工して持ち込むことができるスケールは1個のみで、このスケールに加工できる印もしくは穴の数は4カ所までです。

なお「穴や印のないスケールはいくつ持ち込んでもよい。」となっており、競技を開始した後、穴や印のないスケールを加工し使用することは可能です。

Q2 課題図の左上にある露出三路スイッチにケーブルを施工する場合、下側からケーブルを挿入しカバーを取り付けると、カバーに書かれてあるメーカー名が逆さまになるが審査に影響するのか？
(広島県立呉工業高等学校)



審査に影響しません。

露出三路スイッチのカバーにあるメーカー名が逆さまになる施工で可です。

Q3 支給材料について質問です。
1月15日現在、合成樹脂可とう電線管用サドルが2つ追加になりましたが、ステップルのNo.1の追加はないのでしょうか？
No.2のステップルは余分がありましたが、No.1については1~2つ不足しているように思われます。また、予備のステップルは含まれないのでしょうか？
(広島市立広島工業高等学校)



No.1のステップルの支給個数を14個（予備を含む）に変更します。

また、今回の指摘を受けまして、ステップル、リングスリーブならびに透明キャップの支給個数について見直しました。

なお、支給材料表については訂正したものを東岡山工業高校HP上にアップしますのでご覧おき下さい。